

ペンギンの森で社会起業 ルールブック

みんなを助けて、よりよい社会に

2023/08/15
株式会社TheFlow

これは どういうコンテスト？

- より良いビジネスプラン（しごとの計画）を作ることが目的です。
- 今回の良いビジネスプランの条件は、次のとおりです。
 - より多くのペンギンを助けられること
 - より早く、助けられること
 - より長く続けられること
 - お金がもうかること
 - しあわせに暮らせること

今回のテーマ

**ペンギンが車にひかれずに
道をわたれるようにする**

ペンギンの森にすらすペンギンたちは、毎日、森をぬけて海へ魚をとりに行きます。

でも、森の中に道ろができて、1か月に1羽くらい、ペンギンが車にひかれてしまうようになりました。

今、森にいる大人のペンギンは100羽。そのうち海へ行くのは89羽です。このままでは森のペンギンはめつぼうしてしまいます。

そこで、ペンギンの森にすむまほう使いペンギンのあなたは、みんなを助けるための方法をかんがえることにしました。



今回のテーマでは

- 目の前でおこっている問題の解決方法を、考える
- まず、できる商品・サービスからはじめる
- よりよい社会、みんなが幸せになる方法を考える
- 長く続けられるやり方を考える

ペンギンたちを助けるしごとを
はじめるのはだれ？

あなた



まほう使いペンギン

年齢：はたらきざかり

魚を1日20匹食べる。

使えるまほう：①空飛ぶつばさ

(少しの間、空を飛べるようになる)

②「止まれ」の手ばた信号

(まほうのはたで、車を止めることができる)

③ジャンピング・シューズ

(まほうのくつで高く飛べる)

④穴ほりウサギのスコップ

(まほうのスコップで、すばやく穴がほれる)

あなたにできること

①空を飛んで1羽ずつ運ぶ



1度にはこべるのは1羽です。戻ってくる時間にかかるので、すべてのペンギンを安全に海へ行かせることはできない。1日に安全に海へ行かれるペンギンは、最大40羽。

②はたで車を止めて道をわたらせる



はたは、あなたとほかのペンギン1羽とペアで使う。ずっと車を止めることはできないので、1日に安全に海へ行かれるペンギンは、最大60羽。

③まほうのくつで道をジャンプ



くつがあれば、どのペンギンも道をジャンプして飛びこえられます。くつは1日5足作れる。くつはわたたらぬいで、帰りにはいて帰ってくる。くつは10回使ったら、みがかないと飛べなくなる。

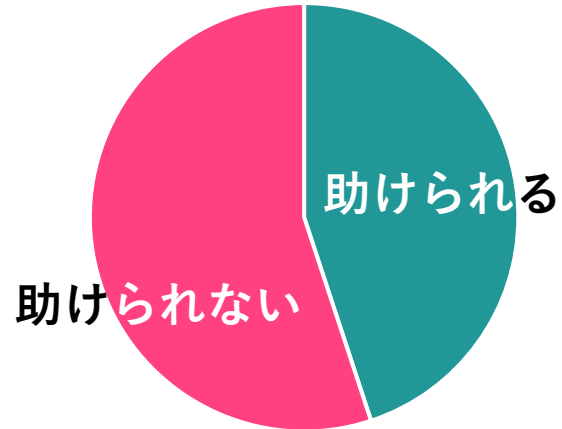
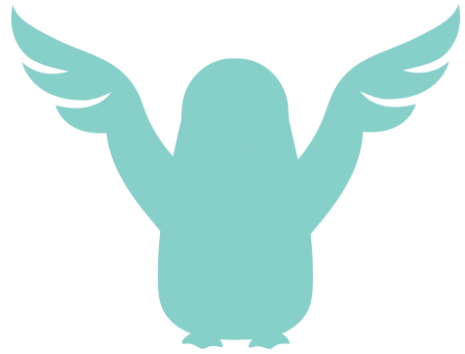
④まほうのスコップでトンネルを作る



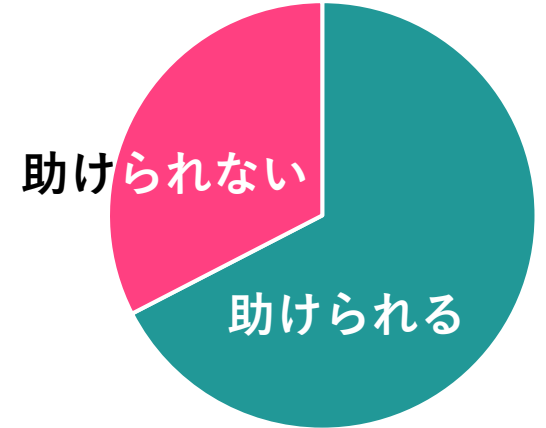
まほうのスコップがあれば、30日で1メートルのトンネルがほれる。道の幅は20メートル。スコップにまほうをかけるには5日かかり、20日使うとまほうは消える。

助けられるペンギン

①空を飛んで1羽ずつはこぶ



②はたで車を止めて道をわたらせる



③まほうのくつで道をジャンプ



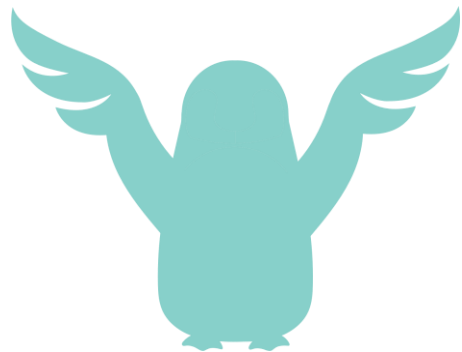
④まほうのスコップでトンネルを作る



もらえるお金（通行料）

①空を飛んで1羽ずつ運ぶ

1往復、1,000円。



大変な分、1回にももらえるお金は多くなる。
タクシーよりも人力車の方が高いのとおなじこと。

②はたで車を止めて道ろをわたらせる

1往復、500円。



一羽一羽運ぶよりも多くのペンギンを運べるが、自分で歩いてもらうので、1回あたりのお金は少なくなる。

③まほうのくつで道ろをジャンプ

1往復、500円。



自分でジャンプしてもらうので、1回あたりのお金ははたで車を止める場合と同じ。

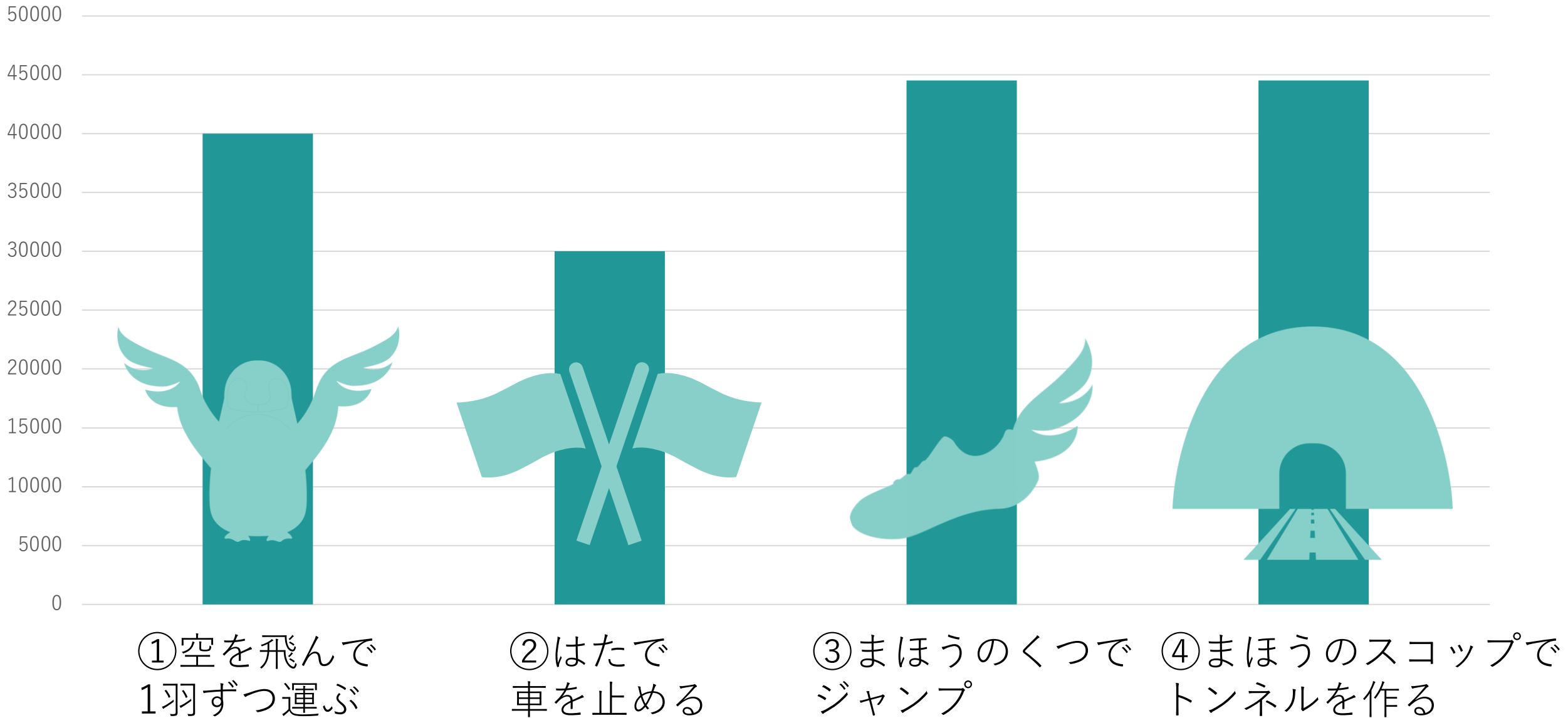
④まほうのスコップでトンネルを作る

1往復、500円。



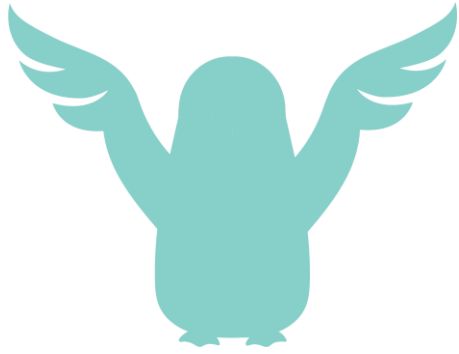
自分で歩いてもらうので、1回あたりのお金は、はたで車を止める場合と同じ。

もらえるお金 (1日)



必要なお金（お給料など）

①空を飛んで1羽ずつ運ぶ



あなたに払うお金（社長のお給料：役員ほうしゅうといいます）だけなので、全部あなたの“もうけ”になる。

②はたで車を止めて道をわたらせる



あなたに払うお金と、一緒にはたを持ってもらうペンギンのお給料がかかる。

③まほうのくつで道をジャンプ



はじめに、“まほうのくつ”を作るための、元のくつを買うお金が必要。
ほかに、あなたに払うお金と、くつをみがくペンギンにはらうお給料がかかる。

④まほうのスコップでトンネルを作る



はじめに、“まほうのスコップ”を作るための、元の“スコップ”を買うお金が必要。
ほかに、あなたに払うお金と、トンネルをほってもらうペンギンに払うお給料がかかる。

必要なお金（お給料など）



①空を飛んで
1羽ずつ運ぶ

②はたで
車を止める

③まほうのくつで
ジャンプ

④まほうのスコープで
トンネルを作る

いっしょにはたらく
ペンギンはだれ？

森のはたらくペンギンたち

ペンギンの森には、あなたの他に99羽の大人のペンギンが住んでいます。こどもたちもいますが、はたらくことはしません。



働けるのは1日1羽

ご長寿ペンギン（森に10羽）

貯金：100万円

1日に必要なお金 8,000円

魚を買って保存食を作って、売った
お金で生活している。

トンネルはほれない。

はたをふることはできる。

くつをみがくことはできる。



働けるのは1日5羽

働きざかりペンギン（森に66羽）

貯金：10万円

1日に必要なお金 12,000円

毎日、海へ行って魚をとっている。
1日40匹、魚をとることができる。

トンネルほりができる。

はたをふることもできる。

くつをみがくこともできる。



働けるのは1日2羽

若者ペンギン（森に23羽）

貯金：0円

1日に必要なお金 10,000円

毎日、海へ行って魚をとっている。
1日30匹、魚をとることができる。

トンネルほりができる。

はたをふることもできる。

くつはみがけない。

森のはたらくペンギンたち

はたらくペンギンたちは、それぞれ、必要なお金とできることがちがいます。



働けるのは1日1羽

ご長寿ペンギン（森に10羽）

お給料：1日に8,000円

トンネルほりはできない。



働けるのは1日5羽

働きざかりペンギン（森に66羽）

お給料：1日に12,000円

なんでもできる。



働けるのは1日2羽

若者ペンギン（森に23羽）

お給料：1日に10,000円

くつみがきはできない。

続けるためにはお金が必要

“あなた”も、仕事を願うペンギンも、海へ行って魚をとる代わりに、ほかのペンギンを助ける仕事をするのですから、魚を買ったりするためのお金～生活費～がかかります。

	空を飛んで1羽ずつ運ぶ	はたで車を止めて、わたらせる	まほうのくつで道路をジャンプ	まほうのスコップでトンネルを作る
安全にわたれるペンギンの数/日	40羽	60羽	くつの数だけ (最大89羽)	∞ 好きなだけ (最大89羽)
もらえるお金/日	1,000円×20羽 = 40,000円	500円×60羽 = 30,000円	500円×89羽 = 44,500円(最大)	300円×89羽 = 44,500円(最大)
はじめるためにかかるお金	なし	なし	ふつうのくつ：1足 1,000円 何足買う？	ふつうのスコップ：1本3,000円 トンネルをほるお金 (6,600,000円)
毎日かかるお金 (あなたのお給料をのぞく)	なし	ペンギンのお給料 ×1羽	ペンギンのお給料 ×?羽～	トンネルが完成したあとは、なし
他のこともできる	できない	くつとスコップ作りはできる	はたふりとくつ作りはできる	はたふりとスコップ作りはできる

どの方法を選ぶ？

①空を飛んで1羽ずつ運ぶ



あなた一羽でできて、他の方法よりも1回に多くのお金がもらえる。でも、これをやっている間は、あなたはこれしかできず、助けられるペンギンは半分より少ない。

②はたで車を止めて道をわたらせる



あなたが一羽ずつ運ぶよりも楽で、少し多くのペンギンを助けられる。ただし、すべてのペンギンは助けられず、あなたは休みを取ることもできず、ペアのペンギンにはらうお金もかかる。

③まほうのくつで道をジャンプ



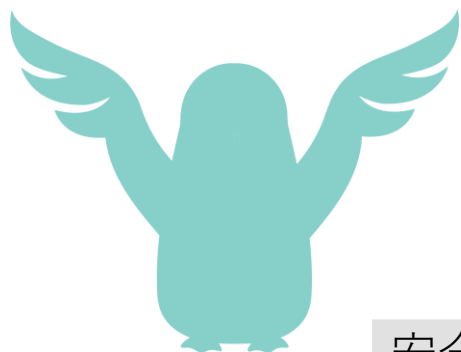
たくさんのくつを作れば、すべてのペンギンを助けることができる。その代わりに、くつの管理やメンテナンス（みがく）の時間やお金がかかる。くつを盗まれることもある。

④まほうのスコープでトンネルを作る



完成すれば、すべてのペンギンを助けることができる。ただし、完成させるためには、たくさんの時間とお金がかかる。完成までの間は、お金は入ってこない。

ひとつずつ、整理してみよう。



①空を飛んで1羽ずつ運ぶ

安全にわたれるペンギンの数/日	40羽/日
もらえるお金（通行料）	40羽 × 1,000円 = 40,000円/日
最初にかかるお金	なし
毎日かかるお金	なし
毎月残るお金（30日分）	1,200,000円
良いこと	あなたひとりで簡単にできる。 あなたはとてもお金がもうかる。
悪いこと	すべてのペンギン（89羽）の半分よりすくない40羽しか、安全に海に行くことができないので、いつかは海へ行かれるペンギンは40羽まで減ってしまう。 あなたが休むと、だれも安全に海に行かれない。 あなたは毎日、とても疲れる。



②はたで車を止める

安全にわたれるペンギンの数/日	60羽/日
もらえるお金（通行料）	60羽 × 500円 = 30,000円/日
最初にかかるお金	なし
毎日かかるお金	ペアペンギン1羽のお給料 (8,000~12,000) 円 = 平均10,000円
毎月残るお金（30日分）	600,000円
良いこと	あなたが飛んで運ぶより、たくさんのペンギンを助けることができる。 あまり疲れないので、残りの時間でほかのこともできる。
悪いこと	すべてのペンギン（89羽）が、安全に海に行くことはできないので、いつかは海へ行かれるペンギンは60羽まで減ってしまう。 あなたが休むと、だれも安全に海に行かれない。



③まほうのくつでジャンプ

安全にわたれるペンギンの数/日	89羽/日（最大）
もらえるお金（通行料）	89羽×500円＝44,500円/日
最初にかかるお金	1,000円/足×100足＝100,000円
毎日かかるお金	くつをみがくペンギンのお給料 8,000または12,000円＝平均10,000円/羽 1日に1羽で10足みがける。くつの使い方を工夫すればお金を節約できるかも？
毎月残るお金（30日分）	735,000円（2羽やとった場合）
良いこと	すべてのペンギンに安全に道路をわたらせることができる。
悪いこと	くつを100足作るには、20日かかる。 くつは10回（5日）使うとみがかないと飛べなくなってしまうので、くつの交かん、使う順番の管理が必要。 見はっていないと、くつがなくなることがあるので、あなたは休むことができない。



④ トンネルを作る

安全にわたれるペンギンの数/日	89羽/日（最大）
もらえるお金（通行料）	89羽 × 500円 = 44,500円/日
最初にかかるお金	スコップ代3,000円 × 5本 = 15,000円 30日/メートル × 20メートル × ペンギンのお給料 12,000または10,000円 = 6,600,000円
毎日かかるお金	トンネル完成後はなし
毎月残るお金（30日分）	1,335,000円
良いこと	すべてのペンギンに安全に道路をわたらせることができる。 トンネルができた後は、あなたは休める。
悪いこと	トンネルができあがるまでには、短くても5ヶ月かかり、その間はお金が出て行くだけで入ってこない。

組み合わせることもできる



×



はたをふることと、くつにまほうをかけることは同じ日にできる。

ただし、ジャンプのためにくつをかすには、くつのかんりや見はりが必要なので、同時にやることはできない。



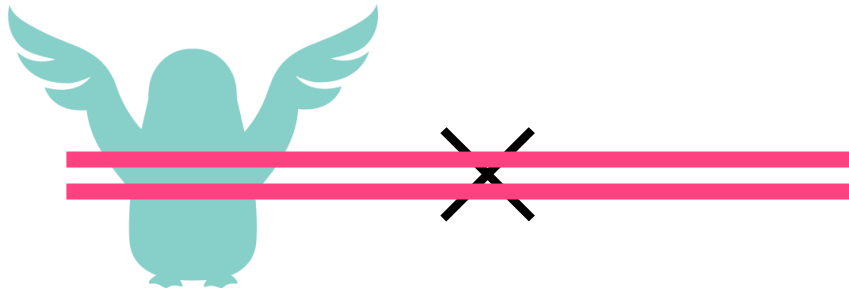
×



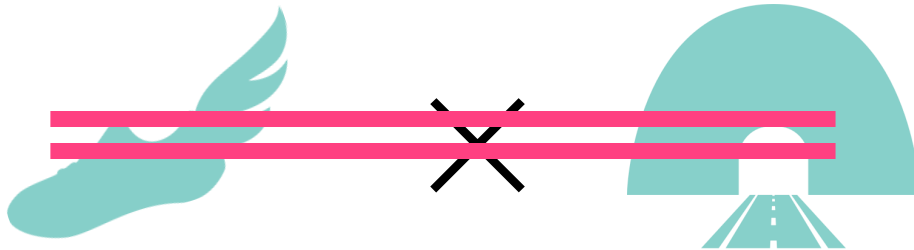
はたをふることと、スコップにまほうをかけることは同じ日にできる。

トンネルをほりのかんとくは、はたをふりながら見ることもできるので、同時にできる。

これはできない



空を飛んでペンギンをはこぶのはとてもつかれるので、ほかのことは何もできない。



まほうをかけることは、まほうの力をたくさん使うので、くつ作りとスコップ作りは、同時にできません。

ほかのペンギンからお金を借りる

大きなしごとをするためには、たくさんのお金がかかります。

あなたのお金だけでは、トンネルをほったりすることはできません。

そういうときは、ほかのペンギンから、お金を借りることもできます。

ただし、貸してもらえるお金は、ペンギンの貯金の1/10までです。

ペンギンの森のルールでは、借りたお金は3ヶ月後に5%のりそくをつけて返さなければいけません。

ご長寿ペンギンの方が働きざかりペンギンよりもたくさん貯金をもっていますが、

ご長寿ペンギンは自分では海へ行かないので、「ひとごと」だと思っていて、なかなかお金をかしてくれません。

お金を借りるには、ほかのペンギンの心を動かす必要があります。

そのほかのルール

- 目的は、「すべてのペンギンが安全に道をわたることができて、あなたも休みがとれて、楽しくくらす森にする」ことです。
- 2ヶ月目からは、1日“平きん”70羽以上のペンギンに、安全に道をわたらせなければいけません。
- しごとは8月1日からはじめます。
- しほん金（会社にさいしょにあるお金）は、300,000円です。
- 通行料はその日にもらえます。ただし、1か月分の前払い定き券を、10%わり引で売ることができます。
- ほかのペンギンのお給料は、毎日その日に払います。ただし、同じペンギンに1か月に10回以上、同じ“しごと”をたのむと、まとめて次の月の10日に払うことができます。
- あなたのお給料（役員ほうしゅう）は、1ヶ月360,000円、支払日は毎月25日です（その月払い。最初の支払日は8月25日）。
- 計画期間のお金の出入りを、TheFlowアプリできろくして、収支グラフを表示してください。1日でも残高がマイナスになったら、そこでおしまいです。

お問い合わせはこちら

株式会社 The Flow (ザフロー)
若林あて

office@theflow.co.jp